

第16回（2021年度）協会活動有功賞受賞者

協会活動有功賞は、当協会の運営、事業等の活動で顕著な貢献のあった者を表彰することにより、会員の協会活動に対する参加意欲の増大を促すとともに、協会活動の更なる発展を図ることを目的として創設されたものです。

ことう まさはる
後藤 将治 氏（マイルストーンゼネラル(株)）

化学分析方法規格化および標準物質の開発に対する貢献



後藤将治氏は、

- ・平成13年にマイルストーンゼネラル株式会社に入社以来、マイクロ波による試料前処理（酸分解・アルカリ溶融等）のアプリケーション開発に従事
- ・日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会 化学分析分科会（現標準化委員会化学分析小委員会）に平成20年より参加
- ・第12回セラミックス関係分析技術者研究発表会（2006）にて発表『マイクロ波試料前処理装置によるセラミックスの分解法』
- ・第6回セラミック化学分析技術セミナー（2007）にて発表『マイクロ波分解法によるファインセラミック材料の前処理方法』
- ・アルミナ微粉末、炭化けい素微粉末、窒化けい素微粉末の協会認証標準物質作製に参加。

・窒化けい素微粉末の蛍光X線分析方法協会規格の作成に参加し標準化に貢献した。

以上の活動により協会の協会が推進する標準化事業（化学分析方法規格の標準化および標準物質の開発と供給）に大きく貢献した。よって協会活動有功賞に値するものとしてここに推薦する。

略 歴 2001年日本大学生産工学部工業化学科卒業。2001年マイルストーンゼネラル株式会社入社。

こもり かずのり
小森 和範 氏（国立研究開発法人物質・材料研究機構）

出版・広報委員会の活動に対する長年の貢献



小森和範氏においては、協会の出版・広報委員会の活動に多大な貢献が認められる。特に、2013年、2017年の出版委員会における、啓発用電子パンフレット及び書籍「セラミックスってなんだろう」の企画統括、2018年度～2019年度には出版理事として広報委員会における「協会の歴史、セラミックスの特性、社会に貢献するセラミックス、特別会員製品の紹介動画」の企画統括において主導的な役割を果たした。

現在も広報委員会－出版委員会の動画作成合同ワーキンググループにおいて出版委員会啓発ワーキンググループ主査として参加し主導的な役割を果たしており日本セラミックス協会協会活動有功賞に相応しい。

以上の活動により協会の出版・広報委員会の活動に大きく貢献した。よって協会活動有功賞に値するものとしてここに推薦する。

略 歴 1988年早稲田大学理工学部材料工学科卒業。1990年同大学院修士課程修了。2022年金沢工業大学大学院博士後期課程修了（工博）。1990年科学技術庁金属材料技術研究所入所。改組、2003年文部科学省ナノテクノロジー総合支援プロジェクトセンターをへて現在 物質・材料研究機構主幹研究員、広報室運営主幹を併任。